

# 第9回ハワイ大学研修訪問団 体験レポート集



研修日程： **2018年2月25日（日）～3月18日（日）**

研修先： University of Hawai'i at Mānoa

兵庫県立大学 国際交流機構

# 体験レポート

看護学部1年

女子学生

今回のハワイ大学研修訪問での三週間で、私は初めての経験をたくさんしました。

まず、私にとって、今回のハワイが初めての海外でした。初めての海外で、ホームステイをすることによって、より深く日本とは違うハワイの文化に触れることができました。ホストファミリーの方々も、まるで私を本物の家族のように扱ってくださり、ホームステイ先に帰ると一日の疲れもとれるほど、私にとってホームステイ先はとても居心地がよかったです。また、同じホームステイ先で、たくさんの友達ことができました。日本を超えた友達もでき、とても貴重な体験ができました。

次に、ハワイ大学での授業についてです。すべて英語で行われていく授業は今まで経験したこともなく、とても刺激的な時間でした。授業中での友達同士の話し合いも、英語でするように求められ、最初はとても戸惑いました。しかし、授業中にキリコ先生に、「英語を上達させるためには、自転車に乗れるように練習するのと同じように、間違っても何回も何回も話そうと挑戦することが大切です」と教えてもらったことを大切にしながら、単語が分からなくても、文法が分からなくても、なるべく英語で話してみるように心がけました。三週間毎日英語を聞いて、英語を話していたことは、留学を終えた私にとって、自信につながりました。

最後に、ハワイでは、たくさんの大きな自然と温かい人たちに触れることができました。ハナウマ湾では、シュノーケリングをしてたくさんの魚たちと泳ぎました。また、カネオヘ湾のサンドバーではとてもきれいなグラデーションを見ることができ、ウミガメともとても近くで泳ぐこともできました。このような海はもちろんのこと、山にも登りました。特に、ハワイ最終日の朝、早起きをして、みんなで登って見たダイヤモンドヘッドでの日の出は、とても感動的で綺麗でした。ハワイの方々はとても温かい人が多く、特にバスの運転手の人たちは、毎朝笑顔で「Good morning!」と言ってくださり、バスを降りるときは、手を振りながら「Have a good day!」と言ってくれます。そのたびに、私まで明るい気持ちになることができました。

私は、このハワイ大学研修訪問に参加して、本当に良かったと思っています。初めての海外、初めての留学で、不安も多少はありましたが、参加して後悔は全くしていません。むしろ、自分にとってプラスになることばかりでした。すべての体験が新鮮で刺激的で、毎日がとても充実していました。この留学で関わってくださったすべての人達への感謝の気持ちを大切にしながら、今回ハワイで得た体験を忘れず、これからの生活に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

## 体験レポート

経営学部 2 年

男子学生

授業では英語を使いながらディスカッションをする授業が中心でした。ディスカッションは主に二人もしくは三人で行われました。僕はこのディスカッションにとっても苦戦しました。どの部分が苦戦したかという、言いたいことは日本語で言えるのにその単語がわからない、もしくは単語はわかるけれどもそれを文にすることでした。おそらく、僕だけでなく僕以外の人もそう思っていたのではないかと思います。他にも、『interchange』というハワイ大学の大学生とお話をするといった授業も受けました。僕はこれが一番充実していた授業だと思います。この授業で外国人と話す難しさを学び、それを向上したいというモチベーションの上昇にもなりました。ホームステイではごく普通の生活を送りました。ただ、一つ思うこととしてはシャワーだけの生活が自分にとってとてもつらかったです。ハワイの人は湯船を基本家に設置していないので、そこは自分がホームステイした上で、慣れなかったです。

このハワイ研修で印象に残ったことはたくさんありますが、一番印象的だったのはハナウマ湾です。僕はそこで日の出を見るために朝の五時に起き、タクシーで向かいました。当然しんどかったです。そこで日の出の景色は絶景でした。三週間のハワイ生活の中で一番綺麗な風景といっても過言ではありません。他に気づいたこととしては、ハワイの人はフレンドリーな人が多いということです。実際に、これは僕が体験したのですが、ハワイ大学に行くときに使う『The bus』で、バスに乗車しようとする際に、楽しそうな会話をしている人が何人か見受けられました。バスだけでなく、飲食店でもありました。僕はハワイの人のこういったフレンドリーな性格を見習うべきであると感じ、日本でもそういう人になれたらなと思いました。

ハワイでの体験を通して、僕は今後これらをバイトに活かしていきたいです。僕のバイト先は飲食店で外国人がよく来ます。けれども時々聞き取れないこともあったのもややもやした気分になることがありました。けれども今後はスキルアップしたリスニング力を生かし、その人にちゃんとした接客ができるようにしたいです。また、TOEICでの点数の向上も目指したいです。今回の研修では、何度もハワイの人と会話したので英語を一語一語聞く癖がつかしました。なので、それを TOEIC のリスニングで得点アップにつなげたいです。

最後に後輩たちに言うこととしては、何事も精一杯楽しむべきということです。観光だけでなく、授業も日本にはない授業があるので良い機会だと思って取り組んでほしいことです。授業自体はしんどいかもしれないけれども、間違いなく自分のためにはなることなのでぜひ、熱心に取り組んでほしいです。

# Experiences in Hawaii

Health & Human Environment

1<sup>st</sup> year

女子学生

I had a lot of experiences and memories in Hawaii. Time flew by, but living in Hawaii was very exciting for me. I was able to many experiences I could not do in Japan. These are unforgettable memories.

First, I had a good time with students of University of Hawaii. They taught me their culture, trends famous food, places and so on. Before I went to Hawaii, I was a little bit nervous and scared to speak English, but now I think it is fun to speak English with a lot of people from different cultures. I enjoyed talking with the students.

Second memory is the time I spent with my host family. Thanks to them I was able to spend a wonderful three weeks. I always talked with them during and after dinner. One day, they taught me Hawaiian history, language and how to play the ukulele. Playing the ukulele was difficult, but it was interesting. These were valuable experiences I could never do in Japan. I was anxious since it was my first homestay experience, but their kindness made me feel at home and they treated me as one of their family member. I appreciate them.

Third, I went to a lot of places after school. Then, I ate many local foods I can't eat in Japan. Everything was very delicious. In Hawaii, there were lots of beautiful beaches and many tourists were there. I met local people then. They were friendly and gentle. I had them help me many times.

Finally, I enjoyed our class. Our teacher taught us English eagerly. She said that if you want to improve your English, you should try again and again. That word remains in my mind. I was able to learn not only English but also the history of Hawaii and various other things in class. I also learned Hula and was able to know what Hula means for Hawaiians. I found that Hula is a tradition that has been inherited for a long time by Hawaiians. Dancing Hula was not easy for me, but it was good experience.

Three weeks was very short, but I was able to touch Hawaiian life, culture and the kindness of Hawaiian people through English. I want to make use of these experiences for my future life. I study English harder, I will go to Hawaii again.

# “About Hawaiian memory and study”

School of Engineering

2<sup>nd</sup> year

男子学生

I am writing about my memories in Hawaii.

I had a lot of new experiences at this Hawaii training. For the first and second weeks, I did my best by getting used to my homestay life, going to various places such as the sea and shopping. But it was also an interesting experience to learn the beautiful scenery of Hawaii, the history on the legal system, how to make ukulele, and teach Japanese to high school students in Hawaii. It was also my first time to dance Hula.

The picture on the right was taken with my host family. Host mother was very kind and bought yogurt for me who was not good at eating breakfast. I was very grateful to them.



And I stopped sightseeing in the last week and I talked with the people of Hawaii alone. I was most pleased that I attended a college gym and a sea bath, talked with

people from various countries, exchange contacts with some people and



achieved the goal. It was good that I could talk with lots of people and study English a lot, but I improved my communication skills during the last week. The photo on the left is taken with people from Tokyo whom I met at sea bath, but on the last day I climbed the Diamond Head to see the sunrise with them. They were very good people,

it was nice to meet. I talked a lot with host family in the last week, so it was very fulfilling.

In this way, I improved my English skills as well as life skills, communication skills, strength of mental, knowledge, and so on in this Hawaii training and it was a very good experience. I made an effort every day as I want to grow rapidly after returning to my life by making use of this growth. Someday I hope to speak English better with people whom I met this time again.

## ハワイ研修体験レポート

看護学部1年  
女子学生

私は、ハワイ研修を通して、今までの捉え方や考え方とは違った角度で物事を捉えられるようになったと思う。

自分たちだけでバスに乗り、学校へ向かった初日、乗り換え地点を間違え、道に迷った私は、道を歩く人に学校までの行き方を尋ねた。しかし、その人が何と言っているのかが理解できず、バス停まで連れて行ってくれることになった。その人は、バス停にいる人たちに、私たちを大学まで連れて言ってくれるように頼んでくれた。私はその優しさにとっても感動したものの、感謝の気持ちをうまく伝えることができず、助けてくれた人に対して感謝の言葉さえもろくに言えない自分の現状を情けなく感じた。

また、インターチェンジでも、交換留学生に会話の流れを任せっぱなしで、聞かれたことに対し、単語を繋げ繋げ話すというような感じで、会話が成り立たないことが多かった。質問されて、そのことについて詳しく話したいにもかかわらず、語彙力がないことにより、うまく伝えられず、もどかしい気持ちを何度も経験した。

そのような情けなさやもどかしさを感じながらも、毎日学校に通っていたとき、自分の変化に気づいた。最初は集中しなければ入ってこなかった先生の英語が、聞き取れるようになったこと、話し合いの時間に飛び交っていた学生どうしの日本語が、少しずつ英語に変わっていったこと、インターチェンジの学生との会話が弾むようになって来たこと。そのような、小さな変化がととても嬉しく感じたし、これからの学習へのやる気へと変わった。

私は、この三週間で、英語が話せるようになったかと聞かれれば、話せるようにはなっていない。しかし、伝えようと身振り手振りで話すと、一生懸命理解しようとしてくれることや、ネイティブの受け答えの仕方、今の自分の現状が知れたことは、今後の成長にとって必要な体験だったと思う。英語を話すことを惜しまず、間違えることやネイティブの真似をすることを恥ずかしがらないことを大切にして、学び続けることで、まだまだ英語力は上がるはずだと思う。今回、毎日学校に通いながらも、いろんな町やいろんなお店を訪れ、楽しみながらハワイの文化を知ることができた。ハワイでの三週間は、これからの英語学習へのモチベーションを高めてくれたと思う。

私にとって、初めての渡航がハワイで、ホームステイのファミリーが kurihara family で良かったと心から感じる。

## 第9回ハワイ大学研修訪問団に参加して

看護学部1年  
女子学生

私は今回のハワイ大学研修訪問団に参加して、多くの経験を得ることができた。最初に、大学での授業やホームステイ先での生活を通してたくさんの英語に触れることができた。そして、毎日英語を使う環境にいたためリスニング力も向上できたように思う。最初の3日ほどはホストマザーとの会話もあまり理解できず、また、自分が伝えたいことを思うように英語で話すことができず消極的になってしまっていた。しかし、常に英語が飛び交う環境にも慣れホストマザーの話す内容がほとんど理解できるようになった。また、大学の授業ではインターチェンジの授業が週2回1時間ずつあり、ハワイ大学の学生と様々なトピックについて英語で会話をした。どの学生もとても話しやすく1時間があっという間だった。この授業もリスニングやスピーキングの力を向上させるのに役立ったと感じた。さらに、英語だけでなくハワイの文化について学ぶ機会も多くあった。課外授業ではフラダンスを習ったり、ウクレレ工場の見学に行ったり、アリオラニハレでハワイの裁判の歴史について学んだ。どの課外授業でも今まで学んだことのないことを学ぶことができとても有意義な体験だった。

放課後や休日には、一緒に参加したメンバーとワイキキやハナウマベイ、ピルボックスハイク、ノースショアなど様々なところに出かけた。特に印象的だったのはカネオヘ湾沖にあるサンドバーでウミガメと泳いだことだ。綺麗なサンゴ礁の中を、手を伸ばせば触れられるくらいの距離でウミガメと泳げたことはすごく貴重な経験だった。

またホームステイ先での生活も全てが楽しい思い出になった。私のホームステイ先では、私たち以外にも日本人とスイス人のルームメイトがいた。毎日、夕食の時にその日の出来事や明日の予定などをホストマザーやルームメイトと話す時間はとても楽しく、本当の家族のように日々を過ごすことができた。そして、その日の出来事や明日の予定などはもちろん英語で話すので自然と英語を使う良い機会にもなった。

今回の研修では3週間という短い期間だったが1日1日がとても充実していた。この経験を生かして今後もいろんなことに挑戦していきたい。

## ハワイ大学研修を終えて

看護学部1年

女子学生

私がこの研修に参加した理由は、特に英語が好きで得意だったというわけでもなかったが、なんとなく留学というものに憧れを感じ、興味を持ったからだった。だから実際に行くと決まってからは、楽しみよりも不安の方が大きくて、何よりも一人で3週間もホームステイするということがとても嫌だった。しかし、いざ行って家族の方と接したり友達と様々なところへ行ったりしているうちに不安はなくなっていき、そして私の中での英語や海外に対する意識、価値観が変わって行った。

まず私の意識を変えたきっかけとなったものはホストファミリーだ。初日は緊張して上手く話せず、あまり会話をするのができなくて家族と距離を感じてしまい、3週間も耐えられないと思った。しかし、距離を感じていたのは私だけで家族の方は私を本当の娘のように思ってくれていた。私が一番驚いた出来事は、私の誕生日をお祝いしてくれたことだ。出会って1週間ほどしか経っていなかったのに、外食に連れて行ってきて、誕生日プレゼントと手紙までくれた。本当に嬉しくて、ハワイの人の温かさを感じ、もっと英語を勉強してコミュニケーションをとってみたいと思うようになった。次に私の意識を変えたことは、自分自身で決めて一人で行動しなければならなかったという状況だ。今まで海外には行ったことあったが、そこで一人で行動するという経験はしたことがなかった。しかし今回は、一人でバスに乗って学校へ行き、帰りもどこかから一人でバスに乗って家まで帰らなければならなかった。最初は何もわからないので不安しかなく、できるだけ遠くへはいきたくないと思っていたが、一回やってみると思っていたよりも簡単に1週間も経たないうちに慣れていき、いろいろなところへ行ってみたいと感じるようになった。今まで一人で何かをするということに抵抗を感じていたが、今回の経験を通じて、一人で何か新しいことに挑戦するという勇氣を持てるようになったと思った。そして最後に私の意識を変えたものは、ハワイでの人との出会いだ。ホストファミリーの方に連れて行ってもらったキリスト教の集まりのようなもので、ある日本人の女性に出会いました。その方は看護師でもともと日本で看護師をしていたが、海外の医療に興味を持ちハワイに留学して、現在はハワイで看護師をしている方だった。私の中で留学というものは学生がするイメージが強く、社会人になってから留学し、英語を勉強して海外で働くという考えは全くなかった。しかしこの女性と会ってから、海外で働くということが近い存在に感じ、それに向けて英語を学びたい、努力したいと思うようになった。大学に入ってから、看護師になるための勉強以外に自分から何かをやりたいと思ったことがなかったから、私にとってこの出来事はとても大きなことだった。英語に対する姿勢が大きく変わり、私の将来に関する視野が広がった。

この研修を終えて私は何事にも興味を持ち、挑戦することの大切さを学んだ。そして、新しい何かを始めることによって今までの自分とは違う価値観や考え方を得ることができたことがわかった。それが自分にとってプラスになるかマイナスになるかはわからないが、挑戦してみなければ何も変わらないのでこれからは、勇氣を持って行動に移していこうと思った。



## 体験レポート

経営学部 2 年

女子学生

この3週間は私にとって実りのあるものとなった。見るもの、聞くもの、感じるもの全てが初めてで、自分が思い描いていたハワイの印象が大きく変わった。

ハワイ大学での授業では、主にディスカッションを通して、英語のスピーキング能力、リスニング能力を鍛えた。テーマは一般的なことからハワイ文化に纏わることまで、幅広いトピックで話し合うことができ、大変ためになった。

先生から言われた言葉で心に残るものがある。

“If you want to improve your English skill, you should practice more without being afraid of mistakes. Like practicing riding a bicycle.”

やはり、自分の英語が通じなかったとき、悔しいもどかしい気持ちになる。そのときに諦めしないで、何度でもトライすることが大事であることに気づかされた。当たり前のことといえそうであるが、実際にやり遂げるのは難しいものである。実践的な英語を身につけるためには、実践的に英語を使い続けることが必要である。この意識をこれから持ち続けたいものだ。

授業はディスカッションの他、ハワイ大学の学生とのインターチェンジや、フラダンス体験、ウクレレ工場見学などハワイ文化を肌で感じることができた。

ホームステイでは、ホストマザーと日常会話から政治や保険という難しい分野まで話した。毎晩映画を見ることが習慣であった。ホストファミリー全員いい人達ばかりで、非常に快適であった。食事もハワイ料理だけでなく、メキシコ料理、韓国料理など様々な国の料理を出してくれた。移民の多様性を感じた。

たった3週間、人生のうちの3週間と考えるとちっぽけであるが、私にとっては大事なパズルの1ピースである。

英語を話せるようになるためには、長期留学は必須であると思っていたが、3週間で文化を学べ、自分の意識次第で英語能力も伸ばせるということが分かった。

せっかく身につけたものを手放さないように、これからも英語の勉強に精進していきたい。

ハワイは気候も人柄も食べ物も良く、日本人にとってはとても生活しやすいところである。留学の第一歩としては、丁度良い研修なのではないかと思う。迷っているならば、チャンスがあるならば、是非チャレンジしてほしい。

## 体験レポート

看護学部1年

女子学生

今回のハワイ研修は私にとって初めてのホームステイでした。ホストファミリーとコミュニケーションがとれるのか、University of Hawaii (以下UH)の授業についていけるのか、不安や緊張で複雑な心境でした。最初はホストファミリーとコミュニケーションどころか聞き取ることもすらできませんでしたが、ホームステイも半ばを過ぎた頃には少しずつコミュニケーションがとれるようになり感動を覚えました。

毎日早朝に起きてバスで学校に通いました。先生の話していることを聞き取れるように一言一句真剣に聞こうと集中力を持続させることは大変でしたが、毎日継続していると、先生の話していることがすんなり聞き取れるようになってきました。授業ではグループワークでお互い英語で話し合ったり、みんなの前で発表することが求められて、なんとか自分の意見を伝えようと努力しました。容易なことではありませんでしたが、授業中は日本語禁止だったので、メンバーの皆がなんとかして意思疎通しようとしたことはとてもいい経験になりました。授業ではUH(ハワイ大学)の学生のインターチェンジャーとの交流が週に2回あり、その時は様々なトピックについてお互い質問して、答えました。自分の意見を英語で表現することは難しかったのですが、インターチェンジャーはとても気さくに話してくれて、緊張することなく、次第にたわいない日常会話もできるようになりました。同年代とのふれあいはホストファミリーや先生とはまた違った交流になり、とてもいい刺激になりました。

授業では課外活動もありました。フラダンスをしたり、ウクレレのお店に行ってウクレレの歴史を聞いたり、裁判所の博物館「Ali'iolani Hale」に行って、ハワイの法の歴史について知ったり、そこで実際に私たちが劇を演じたりもしました。その中で最も印象に残っているのは、劇を演じたことです。「Oni v. Meek」というハワイで昔実際にあった有名な裁判の演目を行いました。配役は自分たちで決め、私はbailiff(廷吏)を演じました。事前に「Oni v. Meek」について授業で学んだので、理解した上で演じるのは興味深いものでした。本物の裁判所のような雰囲気ですごく緊張しました。

ハワイでは授業やホストファミリーとの交流だけでなく、放課後や休日にダイヤモンドヘッドでサンライズを見たり、海に潜ってカメと泳いだり、友達のバースディを祝ったり、普段日本では体験できないような3週間を過ごすことができました。そして何よりも英語の勉強、生きた英語学習を継続して行わなければならないことを身を以て感じました。今回のハワイ研修で学んだことを今後の人生で何かに役立てていきたいと思います。

# About University of Hawaii training

Health & Human Environment

2<sup>nd</sup> year

女子学生

I had a wonderful experience time for three weeks in Hawaii. I wanted to touch Hawaiian culture through daily conversation. Also I wanted to improve my speaking and listening.

It was a very interesting that active lesson at the University of Hawaii with speaking as the main. In addition, I learned Hawaiian culture in program there. For example, I took hula lesson, I visited a ukulele factory and I visited a court in Downtown. Also Interchange with the students of the University of Hawaii was a lot of fun every time. The students at the University of Hawaii were very kind. I have a very memorable relationship with high school students in Hawaii. They are learning Japanese. We talked about recommended sightseeing, traditional food and traditional culture. It was a good time. However, I felt that my low vocabulary. I wanted to speak English more. But words did not come out. Then, Kiriko who is a teacher at the University of Hawaii taught to me. ” If you want to be able to speak English, do not be afraid to fail and talk. Do not think that you do not have vocabulary skills, so do think that you need more effort.” Her words reached in my heart. Then I became to think positively.

The most wonderful memories in Hawaii is life with the host family. It was a very fulfilling day. My host family was a big family and there were always nearly ten people. My host family accepted me like a real family. The host family is very kind person. But it was difficult for me to listen to the host family's words at first time. However, gradually I became able to understand the host family's words and I was able to tell my thoughts. I was very happy that I was able to communicate in English. And more, I want to speak more in English.

Then my host family taught me about such as Hawaiian traditional food, traditional story, traditional musical instruments and Hawaiian words. For example, my host sister taught me how to play the ukulele. Also, I watched TV together and I cooked Japanese food for my host family. They said “taste good”. I was happy.

I went to many sightseeing spots in Hawaii after school and on holidays. I climbed the Diamond Head, I swam in the beautiful Hawaiian sea and I went to the North Shore to eat garlic shrimp. Every place was wonderful.

I spent in Hawaii. It was a very wonderful and fulfilling for three weeks. Hawaii is motivated to me for to study English. I want to learn more English. Then I will do my best to study English.

## ハワイ語学研修体験レポート

工学部 2 年  
女子学生

私はホームステイをしながら、3 週間ハワイ大学の語学研修に参加しました。

私にとって今回が初めてのホームステイだったので最初は少し緊張していました。でも、ホストマザーが‘せっかくハワイに来たのだから、間違いを恐れずに、たくさん英語を話さない’と一言でくださって、少しリラックスすることが出来ました。実際、ホストマザーとは夕食のときに、今日あった出来事や明日の予定を話したりしました。日本の家とほとんど変わらない生活を送ることが出来ました。

研修を行ったハワイ大学はとても広く、スポーツジムから日本庭園までありました。大学には年齢、出身の異なる人がたくさんいました。大学にいて、自分と異なるバックグラウンドを持つ人と出会えるのはとても刺激になると思いました。うらやましかったです。

今回の研修の目標は、英語のスピーキング力向上だったため、授業ではディスカッションを多く行いました。自分の好きな映画や趣味を紹介したりしました。時には、‘一人で無人島に行くなら何を持って行くか’のような一風変わったテーマでディスカッションを行いました。さまざまなテーマでディスカッションをすることで、ワンパターンではなく、色々な文法の英語を練習することが出来ました。

また、授業の一環として行われた、ハワイ大学の学生とのインターチェンジはとても印象に残っています。それぞれの国で流行っている音楽、食べ物について同世代の学生と話す時間はまるで友達と話しているようでとても楽しかったです。それと同時に、気持ちを伝えきれないもどかしさや相手の話している内容を 100%理解したいと強く感じました。ネイティブスピーカーの英語はイントネーションやアクセントがしっかりついていて、正直、日本人が話す英語とはまったくの別物でした。

私は、日本人同士で英語を話している時、発音より文法が正しいかどうかを気にしていました。でも、現地学生とのインターチェンジで、文法を多少間違えていたとしても、ある程度聞き手が話し手の伝えたいことを汲み取って理解できるけれど、発音を間違えると本当になにも伝わらない事に気付きました。文法より発音の方が何十倍も大事だなと感じました。

今までは漠然と理由も無く、英語が話せるようになりたいと思っていました。でも、今回の研修で、ホストマザーが親切に声をかけてくれても、ありがとうとしか返せなかったり、自分の好きなアーティストを紹介するときに魅力を伝えきれないなど、英語を話せないことに対するもどかしさや悔しさを感じました。この気持ちは 3 週間英語に囲まれて生活しないと感ぜられない貴重で価値のあるものだと思います。ハワイで感じた気持ちを忘れずに、今後もより一層、英語学習に力を入れていきたいと思っています。